



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月30日

上場会社名 日本電気硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 5214 URL <https://www.neg.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 岸本 暁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森井 守 TEL 077-537-1700
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	76,656	12.9	765	—	4,627	—	19,616	—
2023年12月期第1四半期	67,922	△21.0	△1,941	—	△1,648	—	846	△94.1

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 31,555百万円 (—%) 2023年12月期第1四半期 2,607百万円 (△89.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	224.61	—
2023年12月期第1四半期	9.09	—

(注) 2024年12月期第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1000%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	729,845	508,242	69.2
2023年12月期	703,917	490,130	69.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 505,040百万円 2023年12月期 487,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	65.00	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	150,000	7.8	4,000	—	4,000	—	18,000	—	201.92
通期	310,000	10.7	16,000	—	16,000	—	27,000	—	302.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料8ページ2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	99,523,246株	2023年12月期	99,523,246株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	12,937,045株	2023年12月期	10,378,386株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	87,335,784株	2023年12月期 1 Q	93,042,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[第1四半期連結累計期間]

①概況

当第1四半期連結累計期間(2024年1月1日～3月31日)においては、売上高は前年同期(2023年1月1日～3月31日)を上回りました。損益面については、営業利益、経常利益とも黒字に転換しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益の計上により前年同期を大きく上回りました。

②経営成績

(億円未満切捨て)

	前第1四半期連結累計期間 (2023/1～2023/3) (億円)	当第1四半期連結累計期間 (2024/1～2024/3) (億円)	増減 (%)
売上高	679	766	13
営業利益又は営業損失(△)	△19	7	-
経常利益又は経常損失(△)	△16	46	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	8	196	-

(製品別売上高)

(億円未満切捨て)

報告 セグメント	区分	前第1四半期連結累計期間 (2023/1～2023/3)		当第1四半期連結累計期間 (2024/1～2024/3)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報	293	43	412	54	119	41
	機能材料	385	57	353	46	△32	△8
	合計	679	100	766	100	87	13

電子・情報：

ディスプレイ事業は、市況の回復により出荷が増加し、価格改定も進んだことから、売上高は前年同期を上回りました。電子デバイス事業は、家電向けを中心に需要が緩やかに回復しているほか、半導体向け製品の需要が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

機能材料：

複合材事業は、自動車部品向け高機能樹脂用途を中心に製品需要が低調なことに加え、厳しい競争環境が続いていることから、売上高は前年同期を下回りました。医療及び耐熱事業は需要が軟調で、売上高は前年同期を下回りました。一方、建築事業は安定した需要が継続し、売上高は前年同期を上回りました。

(損益面)

原材料、エネルギー及び物流の費用負担は引き続き大きいものの、半導体向け製品の好調な販売やディスプレイ事業の稼働率上昇を中心とした製造原価低減の効果があり、営業利益(前年同期は営業損失)を計上しました。営業利益に加えて、営業外収益として海外子会社の借入に係る債権債務の評価替えによる為替差益等があったことから、経常利益(前年同期は経常損失)を押し上げました。また、中期経営計画「EGP2028」に沿ってノンコア資産の処分と政策保有株式の縮減を行い、固定資産売却益、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を大きく上回りました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2024年12月期第2四半期連結累計期間、通期連結業績予想)

(億円未満切捨て)

	第2四半期連結累計期間 (2024/1～2024/6) (億円)	通期 (2024/1～2024/12) (億円)
売上高	1,500	3,100
営業利益	40	160
経常利益	40	160
親会社株主に帰属する当期純利益	180	270

世界経済は、中国など諸外国の景気減速、原材料及びエネルギー価格の高止まりに加え、ウクライナ情勢や中東情勢などの地政学リスクの高まりを背景に、引き続き不透明な状況が続くものと予想しています。

「電子・情報」分野においては、ディスプレイ事業は中国市場を中心に堅調な需要が続くものと見込んでいます。電子デバイス事業は半導体向け製品の旺盛な需要に対応できるよう、生産能力の増強を進めてまいります。

「機能材料」分野においては、複合材事業は厳しい競争環境が続くものと予想していますが、自動車関連市場向けを中心に需要が緩やかに回復するものと見込んでいます。医療及び耐熱事業は需要の回復にはなお時間を要する見通しです。

損益面では、前期（2023年1月1日～12月31日）に実施した事業構造改革により、ディスプレイ事業を中心とした高い稼働率が利益に寄与するものと見込んでいます。また、半導体向け製品の販売拡大が利益を牽引する見込みです。引き続き、生産性改善の取り組みや製品価格の改定を進め、業績予想の達成に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績及び以上の見通しを踏まえ、2024年12月期第2四半期連結累計期間業績予想及び通期連結業績予想については、前回予想（2024年2月5日）を据え置くことといたします。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化、感染症の流行などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,401	98,603
受取手形、売掛金及び契約資産	58,165	67,279
電子記録債権	1,437	1,375
商品及び製品	62,840	55,648
仕掛品	906	1,245
原材料及び貯蔵品	43,755	44,036
その他	10,856	9,337
貸倒引当金	△259	△281
流動資産合計	253,104	277,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,588	66,305
機械装置及び運搬具（純額）	287,181	287,976
その他（純額）	41,197	40,567
有形固定資産合計	392,968	394,849
無形固定資産	4,996	5,148
投資その他の資産		
その他	61,104	61,061
貸倒引当金	△8,257	△8,457
投資その他の資産合計	52,847	52,604
固定資産合計	450,812	452,601
資産合計	703,917	729,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,169	41,803
短期借入金	32,505	50,398
未払法人税等	1,046	8,188
その他の引当金	70	32
その他	32,250	34,547
流動負債合計	109,042	134,970
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	65,838	49,290
特別修繕引当金	6,223	5,676
その他の引当金	129	124
退職給付に係る負債	1,399	1,461
その他	11,154	10,081
固定負債合計	104,744	86,633
負債合計	213,786	221,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,273	34,281
利益剰余金	409,910	424,177
自己株式	△31,932	△40,036
株主資本合計	444,407	450,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,785	17,265
繰延ヘッジ損益	38	△162
為替換算調整勘定	25,814	37,357
その他の包括利益累計額合計	42,638	54,461
非支配株主持分	3,084	3,201
純資産合計	490,130	508,242
負債純資産合計	703,917	729,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	67,922	76,656
売上原価	58,652	63,204
売上総利益	9,269	13,452
販売費及び一般管理費	11,211	12,686
営業利益又は営業損失(△)	△1,941	765
営業外収益		
受取利息	182	211
受取配当金	546	483
為替差益	824	3,065
その他	767	915
営業外収益合計	2,320	4,675
営業外費用		
支払利息	265	268
その他	1,762	544
営業外費用合計	2,027	813
経常利益又は経常損失(△)	△1,648	4,627
特別利益		
固定資産売却益	—	17,679
投資有価証券売却益	1,054	5,749
受取保険金	2,342	—
その他	—	2
特別利益合計	3,396	23,431
特別損失		
固定資産売却損	—	290
事業構造改善費用	—	248
その他	33	36
特別損失合計	33	575
税金等調整前四半期純利益	1,714	27,483
法人税等	829	7,750
四半期純利益	885	19,733
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	117
親会社株主に帰属する四半期純利益	846	19,616

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	885	19,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	508	480
繰延ヘッジ損益	△260	△200
為替換算調整勘定	1,427	11,287
持分法適用会社に対する持分相当額	46	255
その他の包括利益合計	1,722	11,822
四半期包括利益	2,607	31,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,568	31,438
非支配株主に係る四半期包括利益	39	117

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。